

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 15 日

Table with columns for project name, classification, budget items, and fiscal year. Includes details for 'ICT技術を活用した英会話交流事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Overall description of the project) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks and procedures). Includes a note about the impact of COVID-19.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 6 columns: ①手段 (Methods), ④活動指標 (Activity indicators), ②対象 (Targets), ⑤対象指標 (Target indicators), ③意図 (Intent), ⑥成果指標 (Outcome indicators). Shows trends from 2019 to 2025.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing the trend of input volume (costs) from 2019 to 2025. Includes categories like '国庫支出金' and '事業費計(A)'. A diagonal line is drawn in the bottom right corner.

Table showing the internal breakdown of costs for 2022 and 2023. Columns include '02年度事業費 実績 (千円)' and '03年度事業費 予算 (千円)' with specific line items like '報酬' and '旅費'.

事務事業名	ICT技術を活用した英会話交流事業	事務事業No.	20101001002	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
全国でICTを用いた英会話交流事業が普及し始め、桜川市でも平成27,28年頃から市内の児童を対象に英語力の向上を目指して、ICTを用いた交流事業を推進すべきという話が出てきた。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
関係者からは、市内の全ての小学校と義務教育学校が交流できるようにと要望があるため、新型コロナウイルスの影響を踏まえながら、中学校区にまとめて全ての児童が交流できるように進めていきたい。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ICTを用いて海外の児童・生徒と触れ合うことで、英語を身近に感じ、英語への学習意欲を高めることができている。また、異文化への理解も深めていることは、政策体系に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 小学校から英語の授業が始まっており、児童に英語に触れ合う機会を与え、英語力の向上を目的としているため、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、多くの学校で児童が交流に参加できるように進めていきたい。交流内容についても適宜確認しながら、児童が楽しく英語に触れ合うことができるように事業を推進したい。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 児童の英語に触れ合う機会が少なくなってしまう。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 相手学校の選定や備品について桜川市の負担が増えないように必要最小限の費用でやっている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 教育の一貫として事業を展開しており、今後対象となる学校を増やしていくため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、パコール市の小学校が休校、オンライン授業が中心となったため、英会話交流を行うことはできなかった。現在まで交流を行っている3つの小学校の担当者とは、必要に応じて連絡を取っており、新型コロナウイルスが落ち着き、児童が学校に通えるようになったら、交流を再開したいと考えている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
市内の多くの児童が、英会話交流をできるように、交流方法を工夫する。また、楽しい交流ができるように、児童の興味関心が持てるような教材を作成する。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認